

第 4326 号	 リーダスクラブ	1994年1月6日創刊・毎日発行 リーダスクラブFAXニュース (2011年)平成23年 9月15日 木曜日
----------------	--	--

発行所 三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）  
大阪市中央区備後町 2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

## 税務調査の視点(その1)

**Q**：当社は、会社設立して4期目になります。そろそろ税務調査が来るのではと心配なのですが、税務調査では、どのような点を見て来るのですか？

**A**：損益項目、貸借項目を複合的に分析し、あらかじめ調査する事項を決めてから調査に来ます。

### 【解説】

税務調査は、いきなり来るのではなく、事前にKSK(国税総合管理)システムから出力されたデータを基に、損益項目、貸借項目を複合的に分析した上で、対象先を選定して、調査事項をあらかじめ決めてから調査に来ます。

事前調査では、おおむね、次のようなところを見ています。

#### ① 売上関係

売上高のほか、仕入高、粗利率、期末棚卸高が関連付けて見られ、売上の波が大きいところや不自然に一定しているところはその要因を見られる。

#### ② 各種指標

受取勘定回転率や支払勘定回転率、棚卸回転率の連年推移のほか、同規模同業他社の数値との比較もされている

#### ③ 現預金残高

業種業態、事業規模や取引形態から見て異常なことはないか、大幅な増減がないかなどがチェックされる

#### ④ 売掛金

受取勘定回転高は異常でないか、売掛金の内訳書で新規の取引先や無くなった取引先

